

10月13日に否決された一般会計補正予算

10月19日臨時会報告

「のれん会」100万円の補助金をカットして10月19日予算可決

12月議会一般質問

本会議：10日
午前9時より

穂苅清一議員

1. 企業誘致について

- ① ヤマキとの協定内容について
- ② 企業誘致による観光と雇用について
- ③ 企業誘致の基準について
- ④ 固定資産税免除（5年間）による企業が得る利益について

2. 公共下水道事業について

- ① 都市計画事業の進捗状況の内訳について
- ② 単独浄化槽、合併浄化槽等の関連について
- ③ 水源地として環境保全にどう対応するか

原澤良輝議員

1. 県産ニジマス「ギンヒカリ」等で観光の発展を

- ・群馬県水産試験場が開発したニジマスを「みなかみ名産品」として活用することなど。

2. 町の事業は地域の提案を優先することについて

3. 親や子、孫が安心して暮らせる町づくりについて

- ・支援体制を強化するため、3歳～5歳児の保育料を無料化すること。
- ・高齢者の福祉とバス利用促進のため、回数券の一部補助制度について。
- ・交通弱者の「足」確保と買い物など生活援助について。

10月19日に開かれた、2回目の臨時議会で、一般会計補正予算が提出され、全会一致で可決しました。

この補正予算については、前町長鈴木和雄氏の最後の議会となる10月13日の臨時会に、賛成少数のため否決された議案でした。（読者ニュース10/18号参照）

否決の原因は、商工費に「観光特産料理開発研究費」に100万円の予算が計上されたいたもの。質疑の中で、原澤良輝議員が、最初に指摘し、中村、高橋、本多各議員が、次々とこの件に関して答弁の矛盾と問題点を指摘しました。

町長と観光商工課長は、「水上、月夜野、新治地区の料理飲食店組合」から口頭で要望があり、100万円の補助金を予算化したものであり「のれん会」というものを作って研究したいと、答えました。

しかし、3地区の代表者の名前は「分らない」と言って答えず、要望されたのはいつ頃か、月日も町長は「記憶にない」云う始末。討論では穂苅清一議員が、税金は公平、公正に使うべきとし、町民からの要望は議会に提出する以上、陳情、請願又は要望書として文書ですべきとして、わずか100万円とはいえ、ずさんな予算に反対しました。

結果は、賛成が9人で否決されました。みなかみ町議会で、一般会計予算が可決しなかったのは、初めての出来事でした。

今後は、このような不祥事を起こさないよう、行政の説明責任が強く問われることを認識しておくべきです。

12月定例会日程

議会運営委員会では議案として提出された補正予算、水上小と新治中の工事請負契約など16件の議案及び請願について、会期は10日間です。

本議会、委員会もすべて傍聴できます。是非、お出かけ下さい。

尚、一般会計、特別会計の補正予算については、6月と9月の定例会に続き、全議員による「予算連合審査会」として質疑、応答がされます。

- 9日（水）本会議：一般質問4人
- 10日（木）本会議：一般質問3人
（原澤、穂苅）
- 11日（金）委員会：総務文教常任委員会
厚生常任委員会
産業観光常任委員会
- 14日（月）委員会：特別委員会
- 18日（金）本会議

みなかみ町議会に新しい会派誕生

現在、みなかみ町議会には2006年4月の町議選で、当選した穂苅、原澤の2人が日本共産党議員団（団長：穂苅清一）として会派届を提出してあります。

11月20日で新たに9人の会派届が、議長に提出されました。会派名は「壱歩の会」。代表は、速水一浩議員です。これで、現在22名の議会に2つの会派が生まれ、議会運営にも変化があることでしょう。



教育委員の異動のお知らせ

登坂義衛教育長は、11月25日付で任期満了により辞任し、新しく次の方が選任されました。

- 委員 長：石坂作次
- 職務代理者：木村孝弘
- 委員：横田園子、渡部かつ江
- 教育 長：牧野堯彦